

5月10日（土）高野町役場前集会 平和行進（高野街道） 日本政府は禁止条約の署名・批准を！



高野町街道での平和行進



高野町役場前より出発



波多江さんのバンジョウで「青い空は」



南木高野副町長

5月10日（土）集会前に、波多江正美さんがバンジョウで「青い空は」を奏でます。参加者全員もいっしょに歌います。波多江さんは昨年引き続き集会参加です。午後1時となり、役場前での出発集会が始まります。集会は、大城祥男伊都原水協事務局長の進行です。最初に、伊都実行委員会代表の松浦憲信さんが「この橋本伊都の平和行進は、ヒロシマ、ナガサキまで繋いでいく、その一つの輪です。外国の方にも平和の思いをしっかりと呼びかけていきましょう」と挨拶しました。県実行委員会からは「和歌山県内の全市町村平和行進は、高野町からを出発しました。1979年でした」と報告しました。高野町の南木芳亮副町長は「今、最大の課題は核を使わせない事、核をいっくも早く廃絶する様、その世論を作る事が必要です。私たちが出来る事しなければならない事は、被爆国日本として反核平和の声を発信する事です」と町長のメッセージを代読しました。高野町議員の新谷栄一郎さんは、「青年学生達にも平和学習を、行政にも働きかけていく事が大事です。一人でも多くの方に声が届くようにしてほしい」と話されました。次いで、わかやま市民生協の代表が決意表明をおこない、最後、高野町集会アピールが確認されました。今年の平和行進でも、高野山街道に観光客向けに英語バージョンの呼びかけが宣伝カーから流れました。街道を歩いている多くの外国人の方が笑顔で応えてくれます。声を掛けてくれたり、手を振り返したり、親指を立ててサインをしてくれます。平和行進を動画で撮ったりもしています。「平和」は支持され、共感されて入る事を感じました。参加者21名でした。事務局